

平成 26 年 9 月 29 日
解禁日：平成 26 年 9 月 29 日午前 9 時

報道関係各位

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

クラウド向けアプリケーションの品質認証を開始 ～ CSAJ PSQ 認証制度が対象範囲をクラウドに拡大 ～

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、東京都港区赤坂）は、「パッケージソフトウェア品質認証制度（PSQ 認証制度）」において、クラウドコンピューティングを通じて提供されるソフトウェア製品も認証対象とすることを決定いたしました。これに伴い、新評価基準によるトライアル評価を開始いたします。

【背景】

本制度は、国際規格 ISO/IEC 25051 に準拠した評価基準に基づくソフトウェア品質の第三者適合性評価であり、公正性を確保するため、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に沿って制度設計を行い、昨年 6 月に運用を開始しました。

この ISO/IEC 25051 が本年 2 月に改正され、その対象範囲が従来のいわゆるパッケージソフトウェアから、クラウドコンピューティングを通じて提供されるソフトウェア製品やフリーソフト、スマートフォン向けソフトウェアまで拡大されました。（改正内容の概略は別紙をご参照ください）

業務アプリケーションのクラウド化が急速に進む中、利用者が安心して製品選定を行えるよう、PSQ 認証制度でも新評価基準策定を進め、このたび新評価基準（β版）による SaaS/クラウド対応ソフトウェア製品のトライアル評価を開始いたします。

【PSQ 認証制度トライアル評価協力企業の募集について】

トライアル評価は 10 月から 12 月末までの 3 か月間で計 8 製品を対象に実施する予定です。すでにサイボウズ株式会社をはじめとする 3 社 3 製品の協力が決まっており、残りの 5 製品については協力企業を募集いたします。

- ①評価期間：10 月～11 月中旬 対象 3 製品（12 月下旬判定）
- ②評価期間：11 月～12 月下旬 対象 3～5 製品（1 月下旬判定）

トライアル評価における認証手数料は、正規料金よりも若干の割引を予定しております。詳細につきましては CSAJ PSQ 認証室へお問い合わせください。

■問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室
e-mail : psq_info@csaj.jp
TEL : 03-3560-8452

<パッケージソフトウェア品質認証制度（略称：PSQ 認証制度）について>

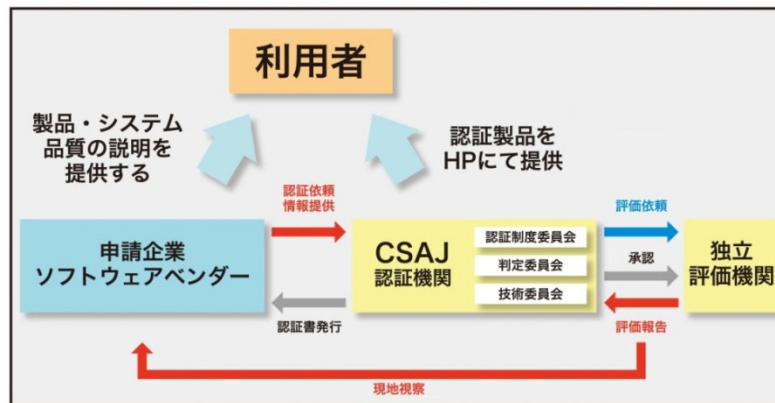
<目的>

- ・パッケージソフト製品に関する利用者や市場への品質説明力強化
- ・国際市場における日本製品の品質に関する正当な評価の確立
- ・利用者の潜在的なリスク軽減
- ・ソフトウェア製品の本質的な品質向上



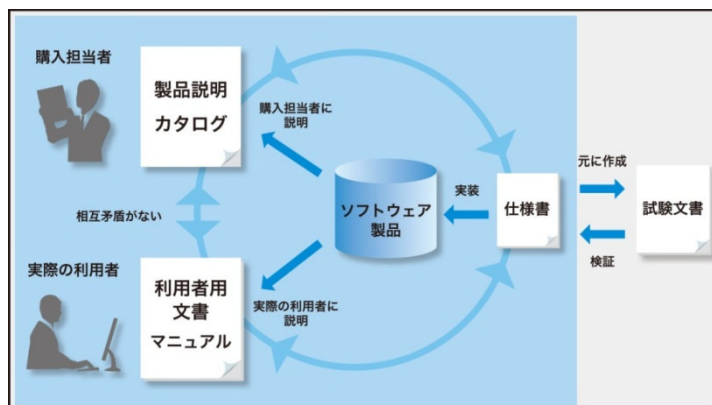
<認証フロー>

申請者は認証機関へ対象となる製品を申請します。認証機関は申請内容の確認後評価機関に評価依頼をし、評価基準に則り評価を実施し、最終的には判定委員会で認証判定を行い、合格したものに対して認証書を発行します。



<認証ポイント>

PSQ 認証制度では、「製品説明（カタログなど）と利用者用文書（マニュアルなど）が国際規格 ISO/IEC 25051 及び対応する国内規格 JIS X 25051 に規定されている要求事項に適合していること、およびこれらの文書に記載された内容がソフトウェアとして実現されていることを確認できること」が要件となります。品質ライフサイクルの観点では企画から廃棄までの範囲で品質を考えることもありますが、PSQ 認証制度では組織能力や管理プロセスは審査対象ではありません。また、製品の品質については、「試験文書」を適正に作成し、試験を実施しているかで評価します。



<パッケージソフトウェア品質認証制度と各種文書の関係図>

<ISO/IEC 25051の改正内容について>

ISO/IEC 25051:2014 は、ISO/IEC 25051:2006 を元に、2011 年に改正された ISO/IEC 25010（システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価（SQuaRE）-システム及びソフトウェア品質モデル）に準ずる形で改正されました。その変更内容は主に品質特性の拡張と適用範囲の拡大となっています。

品質特性の拡張については参照元である ISO/IEC 25010 に従う形で変更が加わっており、製品品質特性では、プラットフォームとなる利用端末がパーソナルコンピュータだけではなく、スマートフォンやタブレットまで拡大したことによる「互換性」や、個人情報など特別な情報を取り扱う際には欠かせない「セキュリティ」が新たな品質主特性として定義されました。これは社会的情勢を踏まえた改正と見ることができます。

また、利用時の品質特性についても ISO/IEC 25010 に準ずる形で改正されています。

適応範囲についても社会的な環境の変化を踏まえ、パッケージソフトウェア（商用既成ソフトウェア製品）だけではなく、ウェブサイトからダウンロードしてインストールする製品や、クラウド上のサービスにログインして使用するソフトウェアなどを含めることとしています。

【CSAJ が ISO/IEC 25051:2014 の JIS 原案作成団体に決定】

PSQ 認証制度を運用する CSAJ では、既製ソフトウェア製品の品質を規定した ISO/IEC 25051 の早期国内普及を目的に、一般財団法人日本規格協会の「平成 26 年度 JIS 原案作成公募制度」に応募し、7 月 28 日に採択されました。8 月より協会内に「JIS 原案作成委員会（委員長：東 基衛氏（早稲田大学 名誉教授））」を設置し、JIS 原案作成作業を開始いたしました。

本件に関するお問い合わせは下記連絡先までお願い致します。

■お問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室 e-mail:psq_info@csaj.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル 4階
TEL:03-3560-8452 FAX:03-3560-8441 <http://www.csaj.jp/psq/>